

礼拝 聖なるかな  
聖なるかな

[ 1546, II 236 ]

Heilig, heilig, heilig! Heilig ist der Herr!  
詞 : Johann P. Neumann, 19世紀

ZUM SANCTUS  
曲 : Franz Schubert, 1797-1828

1 せいなるかな、せいなるかな、

せいなるかな、主なるかみ -。

主のえいこうは地にみてり -。

せいなるかな、主なるかみ -。

- 1 せいなるかな、せいなるかな、  
せいなるかな、主なる神。  
主の栄光は地に満てり。  
せいなるかな、主なる神。

ア - メ ン。

しゅ いのり  
主の祈

てん われ ちち  
天にまします我らの父よ。

ねがわくはみ<sup>な</sup>名をあがめさせたまえ。

くに き  
み国を来たらせたまえ。

みこころの<sup>てん</sup>天になるごとく、

ち  
地にもなさせたまえ。

われ にちよう かに きよう あた  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

われ つみ もの  
我らに罪をおかす者を

われ  
我らがゆるすごとく、

われ つみ  
我らの罪をもゆるしたまえ。

われ  
我らをこころみにあわせず、

あく いだ  
悪よりすくい出したまえ。

くに ちから さか  
国と力と栄えとは

かぎ  
限りなくなんじのものなればなり。

アーメン。

## エゼキエル書 37:1-14

主の手がわたしの上に臨んだ。わたしは主の霊によって連れ出され、ある谷の真ん中に降ろされた。そこは骨でいっぱいであった。主はわたしに、その周囲を歩き巡らせた。見ると、谷の上には非常に多くの骨があり、また見ると、それらは甚だしく枯れていた。そのとき、主はわたしに言われた。「人の子よ、これらの骨は生き返ることができるか。」わたしは答えた。「主なる神よ、あなたのみがご存じです。」そこで、主はわたしに言われた。「これらの骨に向かって預言し、彼らに言いなさい。枯れた骨よ、主の言葉を聞け。これらの骨に向かって、主なる神はこう言われる。見よ、わたしはお前たちの中に霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。わたしは、お前たちの上に筋をおき、肉を付け、皮膚で覆い、霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。そして、お前たちはわたしが主であることを知るようになる。」わたしは命じられたように預言した。わたしが預言していると、音がした。見よ、カタカタと音を立てて、骨と骨とが近づいた。わたしが見ていると、見よ、これらの骨の上に筋と肉が生じ、皮膚がその上をすっかり覆った。しかし、その中に霊はなかった。主はわたしに言われた。「霊に預言せよ。人の子よ、預言して霊に言いなさい。主なる神はこう言われる。霊よ、四方から吹き来れ。霊よ、これらの殺されたものの上に吹きつけよ。そうすれば彼らは生き返る。」わたしは命じられたように預言した。すると、霊が彼らの中に入り、彼らは生き返って自分の足で立った。彼らは非常に大きな集団となった。主はわたしに言われた。「人の子よ、これらの骨はイスラエルの全家である。彼らは言っている。『我々の骨は枯れた。我々の望みはうせ、我々は滅びる』と。それゆえ、預言して彼らに語りなさい。主なる神はこう言われる。わたしはお前たちの墓を開く。わが民よ、わたしはお前たちを墓から引き上げ、イスラエルの地へ連れて行く。わたしが墓を開いて、お前たちを墓から引き上げるとき、わが民よ、お前たちはわたしが主であることを知るようになる。また、わたしがお前たちの中に霊を吹き込むと、お前たちは生きる。わたしはお前たちを自分の土地に住まわせる。そのとき、お前たちは主であるわたしがこれを語り、行ったことを知るようになる」と主は言われる。

## ヨハネによる福音書 14:15-27

「あなたがたは、わたしを愛しているならば、わたしの掟を守る。わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてくださる。この方は、真理の霊である。世は、この霊を見ようとも知ろうともしないので、受け入れることができない。しかし、あなたがたはこの霊を知っている。この霊があなたがたと共におり、これからも、あなたがたの内にいるからである。わたしは、あなたがたをみなしごにはしておかない。あなたがたのところに戻って来る。しばらくすると、世はもうわたしを見なくなるが、あなたがたはわたしを見る。わたしが生きていますので、あなたがたも生きることになる。かの日には、わたしが父の内におり、あなたがたがわたしの内におり、わたしもあなたがたの内にいることが、あなたがたに分かる。わたしの掟を受け入れ、それを守る人は、わたしを愛する者である。わたしを愛する人は、わたしの父に愛される。わたしもその人を愛して、その人にわたし自身を現す。」イスカリオテでない方のユダが、「主よ、わたしたちには御自分を現そうとなさるのに、世にはそうなさらないのは、なぜでしょうか」と言った。イエスはこう答えて言われた。「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む。わたしを愛さない者は、わたしの言葉を守らない。あなたがたが聞いている言葉はわたしのものではなく、わたしをお遣わしになった父のものである。わたしは、あなたがたといたときに、これらのことを話した。しかし、弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる。わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。

詞：由木康，1896—1985

ECUMENICAL  
曲：高田三郎，1913—

1 すくいのみちをひらいたイエスをい  
2 じだいはうつりふうどはかわり、主 ▶  
3 おわりのときがせまるにつれて、世

しずえとしてはじ-められ、すくいのわざをう  
▶にあるたまはわか-れても、みことばをのべと  
のなみかぜはさわ-いでも、みくにをもとめ主

けついでき-た主のきょうかいはただひとつ。  
▶もに~~ん~~をさ-く主のきょうかいはただひとつ。  
をまちのぞ-む主のきょうかいはただひとつ。

(♩=60)

- 1 すくいの道を 開いたイエスを  
いしずえとして はじめられ、  
すくいのわざを 受けついできた  
主の教会は ただひとつ。
- 2 時代はうつり 風土はかわり、  
主にある民は 分かれても、  
みことばをのべ ともにパンをさく  
主の教会は ただひとつ。
- 3 おわりのときが せまるにつれて、  
世のなみかぜは さわいでも、  
み国をもとめ 主を待ちのぞむ  
主の教会は ただひとつ。

ヨハ10：14-16, 17：11 使2：44-47  
ロマ12：5 エフエ4：1-6



しとしんじょう  
使徒信条

われ てんち つく ぬし ぜんのう ちち かみ しん  
我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われ ひと ご われ しゅ  
我はその独り子、我らの主、イエス・キリス

トを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マ

リヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦

しみを受け、十字架につけられ、死にて葬ら

れ、陰府にくだり、三日目に死人のうちより

よみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右

に坐したまへり、かしこより来りて、生ける

者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊

を信ず、聖なる共同の教会、聖徒の交はり、

罪の赦し、身体のよみがへり、永遠の生命を

信ず。アーメン。

## 光の子になるため

I want to walk as a child of the light  
詞: Kathleen Thomerson, 1934-

HOUSTON  
曲: Kathleen Thomerson, 1934-

1 ひかりの子になるため ついてゆきます。  
2 主のかがやきみるため すすみゆきます、  
3 主のふたたびくる日を まちのぞみます。

この世を-てらすため こられた主 イエス に。  
しめされ-たこみちを みかみのみもと に。  
しんごを-まもりぬき、みまえに たつ日を。

(くりかえし)

主のうちにやみはなく よるもひるもかがやく。

こころの なかを わが主よ、 てらして くだ さい。

(♩=96)

- 1 <sup>ひかり</sup>の<sup>こ</sup>子<sup>の</sup>なる<sup>た</sup>め <sup>つ</sup>従<sup>い</sup>て<sup>い</sup>き<sup>ま</sup>す。  
 この<sup>よ</sup>世<sup>を</sup>照<sup>ら</sup>す<sup>た</sup>め <sup>ま</sup>来<sup>ら</sup>れ<sup>た</sup>主<sup>イ</sup>エ<sup>ス</sup>に。

(くりかえし)

<sup>し</sup>主<sup>の</sup>うち<sup>に</sup>闇<sup>は</sup>なく <sup>よ</sup>夜<sup>も</sup> <sup>ひ</sup>昼<sup>も</sup> <sup>かがや</sup>輝<sup>く</sup>。  
<sup>こ</sup>心<sup>の</sup>中<sup>を</sup> <sup>わ</sup>が<sup>主</sup>よ、 <sup>て</sup>照<sup>ら</sup>し<sup>て</sup> <sup>く</sup>だ<sup>さ</sup>い。

- 2 <sup>し</sup>主<sup>の</sup>輝<sup>き</sup>見<sup>る</sup>た<sup>め</sup> <sup>すす</sup>進<sup>み</sup>行<sup>き</sup>ま<sup>す</sup>、  
<sup>しめ</sup>示<sup>さ</sup>れ<sup>た</sup> <sup>こ</sup>小<sup>みち</sup>路<sup>を</sup> <sup>み</sup>神<sup>の</sup>み<sup>も</sup>と<sup>に</sup>。

- 3 <sup>し</sup>主<sup>の</sup>再<sup>び</sup>来<sup>る</sup>日<sup>を</sup> <sup>まち</sup>待<sup>ち</sup>望<sup>み</sup>ま<sup>す</sup>。  
<sup>しんこう</sup>信<sup>仰</sup>を<sup>まも</sup>り<sup>ぬ</sup>き、 <sup>ま</sup>み<sup>ま</sup>前<sup>に</sup> <sup>た</sup>立<sup>つ</sup>日<sup>を</sup>。

ヨハ12:36, 16:22 Iテサ5:5 詩139:11-12  
 IIテモ4:6-8 ロマ13:11-12

ア-メン。

礼拝 頌栄  
父・子・聖霊の

[1541]

ORTONVILLE  
曲 : Thomas Hastings, 1784-1872

ち ち・子・せい れいのひとりの主よ -、さかえとち

からはた-だ主にあれ -、と-こしえまで -。

(♩=108)

ちち・子・せい れいのひとりの主よ、  
さかえと力はただ主にあれ、  
とこしえまで。  
アーメン。

♯115 : 1. 18

アーメン。